

## イヤイヤ期を乗り越える4つのポイント♪

私達の法人では、男性保育士が、地域の子育て支援やパパ育児休業講座、法人内・法人外の園の保育活性化など、さまざまな活動を行う【男塾】という取り組みを行っております。

今回、とある保育園の園長から、「保護者のお父さん達を対象に企画したいので、男性目線での保育士経験や子育て経験をいろいろと話してほしい」とお申し出をいただき、男塾の活動の一環として11月末にパパ10数名を対象に『子育て講座+座談会』を行ってきました。

当日は『モンテッソーリの視点での子どもの見方について』の話をし、その後座談会になりました。さすが土曜日の貴重な休みの中集まったパパ達だけあって、座談会では子育てエピソードや育児の悩みがどんどん出てきました。

- 子どもがとにかく高いところからジャンプしたがる。やらせてあげたいが危険。どこまでは自由にさせて、どこで止めたらいいのか？
- 全然片付けをしてくれず、親が仕方なく片付けているが、子どものためにそれでいいのか？
- 食事の好き嫌いが多く、嫌いな物は一切食べてくれない。何かコツはありますか？

上記は出てきた悩み相談のほんの一部で、中でも一番多かったのは、やはりイヤイヤ期の対応でした。

「何を誘っても、いやだと言う」

「お風呂に入ってくれない」

「道端やスーパーで泣いて座り込んでしまう」

子育てをしていく中でイヤイヤ期は誰もが悩むところです。私もかなり苦戦しました。モンテッソーリ教育ではイヤイヤ期のことを『秩序の敏感期』とも呼びますが、イヤイヤ期の対応として、4つのポイントがあるのでご紹介します。

- ① **あらかじめ予定を伝える** 「このテレビが終わったらお風呂に入るからね」  
事前に伝えておくことで、子どもの中で気持ちの整理がつきやすくなります。
- ② **子どもの気持ちを受け止める** 「そうだよね、まだ入りたくないよね」  
一度気持ちを受け止めることで、子どもの気持ちが前向きに切り替わります。
- ③ **子どもに選択肢を与える** 「今日はお風呂の色は青と緑、どちらにする？」  
POINT は、どちらを選んでも『すること』になる質問です♪
- ④ **大人が時間に余裕を持って行動する**  
時間に余裕がないとイライラして悪循環、反対に時間にゆとりがあれば、子どものイヤイヤも可愛く見えてきます。

イヤイヤ期は必ずくるもの、そして必ず終わりはきます！

今回座談会で出会ったパパ達も、子育ての難しさに苦戦しつつ、それ以上に子育てを楽しんでいるな、という印象を受けました。

これからも法人全体で子育て講座を開催し、子育て世代の皆さんを応援していきます。

「楽しさも」「大変さも」十分味わいながら、子育てを満喫していきましょう！

(中野)